

新市中央中学校区の地域・保護者・教職員対象のCS導入に向けた説明会

2022(R4)11.16(水)

15:15~16:45

場所：新市中央中学校

① 質疑応答や意見交流

参加者：わかりやすい説明ありがとうございました。地域のものとして質問をします。

コミュニティ・スクールの単位は、新市中央中学校区であり、小中一貫教育が基本となるということでよろしいですか。そうなると、新市中央中学校区という大きな町内になり、学校運営協議会はとても大きい組織となります。そんな広い範囲の中で、学校運営協議会のメンバーを選出していくのは難しいと思いますが、どのように人選されるのですか。

今年、鞆の浦学園と想青学園がコミュニティ・スクールを導入し、学校運営協議会を5月にしています。人選するとなると、私のイメージでは、公民館の方も運営協議会のメンバーに入れることができがコミュニティ・スクールの大きな一步になるのではないかと思います。

また、話の中ででてきた「むらさきラボ」という部屋は、校舎ができた後に、設置したんですか。そのようなコミュニティ・スクールの部屋は各協議会にあることが望ましいですか。

講師：府中市では中学校区で、コミュニティ・スクールはやっていません。理由としては法改正です。

府中市がコミュニティ・スクールの導入を決めたときには、学校単位での設置・導入がメインとなっていたので、各校ごとにコミュニティ・スクールを設置しています。法改正があり、中学校区での設置が可能となり、現在、中学校区で導入されているところも聞いております。府中市でもそれぞれの学校運営協議会から要望が出れば、中学校区に変えていくようになります。

司会：福山市では、小中一貫教育の観点から中学校区で導入していきます。人数は15名以内とします。運営協議会のメンバーについては、校長先生方と意見を交流しながら決めていきます。

講師：メンバー構成を考えたときに、各小中学校区から集まってもらった方で学校運営協議会が組織されると思います。その下に、学校ごとの部会という形で置いていくという方法を実践されているところもあります。学校運営協議会に各学校の運営協議会の方が入られると思います。その下に、○○小学校部会という形で置いてやっていく。

そして、今各校でされている学校関係者評価も学校運営協議会が担うようになります。つまり、学校評議員制度は学校運営協議会が設置されたら無くなります。中学校区で学校運営協議会をするとなったときに、学校運営協議会の下に部会として残して、それぞれの活動を進めています。その活動を学校運営協議会の中で交流し、進めていくという形が多いと思います。

メンバー構成も最初は、地域、学校、PTAなどバランスをとった方がいいです。これから学

校に新しい学びを入れようとしたときには、子どもたちのために力を使いたいという地域の企業の方に入っていただくことで、より一層、学びの幅が広がっていくと思います。無理に15名を選ばなくともいいと思います。活動していくうちに後から入ってもらいたい方が出てくるので、そのときに選出することも一つの方法だと思います。

公民館との兼ね合いは、非常に重要だと思います。国府小学校には、道一つ挟んで公民館があります。そのため、地域連携が日常的に行われています。活動の例として、学校が中心となって国府エンジョイ祭りという、地域に無かった祭りを新たに作り上げたということがあります。学習の場と地域との連携の場ができています。

CSルーム（むらさきラボ）についてです。市の施策として、各校にCSカフェを設置しようと進めていったものです。現在、府中明郷学園と栗生小学校の2校のみしか実現できていません。空き教室を活用して、地域の人が集えるスペースを作っていました。だから、学校運営協議会でも何の目的でその部屋を設置していくのか明確になるといいと思います。

参加者：公民館活動と学校の活動は切り離せない関係です。それをきっかけにしてCSをやっていく方法もあるなと思いました。

市への要望です。公民館は今、生涯学習課ですが、市教委と切り離されている状態です。生涯学習課の管轄ですが、現在、公民館活動が制限されています。

例えば、以前あった学区民大学は、地域の自主的なサークル活動になりました。学区民大学があるときには、小学校と積極的に交流ができていました。つまり、公民館が主体となって小学校をつないでくれていたんです。しかし、それがサークル活動になってしまい、地域に投げた部分があり、小学校との交流ができていない現状です。財政の話にもなりますが、福山市としてCSに公民館の重要性があるというならば、学区民大学など復活させてもらいたいです。私は、公民館の機能を減らしていくようにしか思えないです。

② 参加者のアンケート

◇府中明郷学園のように、小中一貫の学校と中学校校区の小・中学校では、違った大変さがあると感じた。学区の中に複数の小学校があると、連携が難しいかもしれません、各地域の良さと、学区としての地域の良さをうまく活かしていくために、できることを考えていきたと思います。学区として取り組んでいることを、地域の方に知ってもらう機会を設けたり、中学校として地元企業と連携したりしていることがあるので、それを各小学校に生徒が紹介しに行くことができるのかなと思いました。

◇地域と学校が一体となって子どもを支えていくことは、子ども達にも安心を与えるし、良い結果につながっていくんだと思いました。

ですが、正直、今日の話を聞いても「新市中央中学校区ではどんな形で進めるのかな」とイメージがなかなかできず…でした。自分が感じたことが的外れてないか心配です。実践していかながら、イメージをつかんで方向性を見つけていくのかなども少し感じました。イメージがわからないから、

どう動いてどう活動していくのかしっかり当事者意識をもって考えていくことが大切だと感じました。地域の方と一緒に子ども達を支えて子ども達が「いい学びができた。いい地域にいることができた」と思えたらいいなと思います。難しけど、進んでいきながら新市中央中らしいものにしていければいいです。

◇現在の事業をコミュニティ・スクールの視点で見直していけば、難しいことはないこと、真似することから…と発信して下さり、今、地域と共に取り組んでいることを進めていけば良いと安心しました。地域で子どもの成長を願う同一の目的を共有できていくか、会の運営が熟議のポイントだと思う。

◇スタートカリキュラムとして1時間目をなかよしタイムとして保育所・幼稚園と同じように活動し、これを教師ではなく地域の人の力を借りて活動ができるので、子どもたちも安心して楽しみながら小学校になれることができると感じました。

◇私は1年生の担任をしています。だから今日の後半に出てきた新1年生とCSとの関わりは、とても大切で必要だと感じました。実際、生活や図工、朝の時間など学校の教師だけでは規模が小さくなったり、人手が足りなかったりします。是非、この新市でもCSを実現させて学校と地域・家庭が関わりやすい環境になればなと思います。